

# ヴァイングート・マルクス・モリトール

マルクス・モリトールは、この古い家族経営のエステートを経営する一族の8代目にあたる。彼は、1984年にこのビジネスを引き継いだ時、弱冠20歳であった。それ以来彼は、葡萄畑を現在の40ヘクタールにまで大幅に拡大するだけでなく、葡萄畑やセラーで妥協なく尽力し、ワインの品質の飛躍的な向上を成し遂げ、以前では考えられなかったレベルに到達した。

## 醸造哲学

収穫は常にシーズンの極端に遅い時期に行なわれ、常に厳選され、葡萄は大変小さな容器に摘み取られる。その後葡萄は通常、作業が最小限にされ、圧搾と加工が迅速に行なわれる。（少々問題がある葡萄の一群のみが房のまま圧搾される。）マストは重力によりシンプルに清澄がなされ、澱引きされ、更に発酵は野生酵母のみでなされる。セラーは古いアーチ型のスタイルで、自然な涼しい環境を提供する。発酵は部分的にステンレススティールタンクと伝統的なオーク樽で行なう。最近ではオーク樽の割合は約40%であるが、マルクス・モリトールは、樽の割合を60%まで増やすことができる様、更に岩を切り出した樽用のセラーを作る予定である。彼は全ての高品質ワインは、少なくともある一定時間は樽熟すべきだと考えている。発酵が完了すると、モリトールはワインを長期間シュール・リーさせ、瓶詰め前に軽くフィルター掛けをする。

## 葡萄栽培哲学

マルクス・モリトールは“テロワール” - この概念を大変愛する者の一人である。近年ではリースリングのスタイルの偉大なポートフォリオを実現できる、様々な葡萄畑の数を継続的に増やしている。彼の考えは各々のテロワールの違った特徴を表現することである。その特質と産地を表現する極めて個性的なワイン、これが彼が目指すものである。モーゼル渓谷の葡萄畑は極めて傾斜し、作業するのが大変困難である。全ての最高の畑は深いか浅いか、より柔らかいかより固いかなど、粘板岩が豊富な土壌で特徴付けられ、異なるミネラルの成分構成を持つ為、灰色や青色に色を変え、赤色にさえなることがある。マルクス・モリトールは、モーゼル河流域中部の最も良く知られ、最も美しい場所の幾つかを所有し、ザールにも1つ葡萄畑を持つ。



## ヴァイングート・マルクス・モリトールの商品